問題は一鐘紡の問題にあらず全紡織延ては全産業に及ぼす賃銀底下の前哨戦なるが故に全労働大衆の圧力を以て二水を粉砕せんことを期す

昭和五年四月八日

日本労働組合同盟
日本紡織労働組合本部

勞秘第一、一四二號
昭和五年四月十一日　警視總監　丸山鶴吉

内務大臣　安達謙藏殿
社會局長官殿
各廳府縣長官殿

鐘ヶ關紡績株式會社ノ勞働爭議ニ関スル件　第四報

要旨

十日午後四時半會社側ヨリ職工ノ嘆願ニ對シ容認シ難キ旨面答アリ從業負側ハ不滿アリタルモ幹部ノ鎮撫ニヨリ平穏ニ退散セリ

總同盟側ハ引續キ文書戦ノ外十日金正、原中浜ノ三名ニテ會社ヲ訪問シタルモ面會不能ニテ退去セリ

總聯合系宇野外二名ハ町民大會ノ決議文ヲ會社ニ提出セリ

急進愛國勞働者總聯盟ハ十日宣傳印刷物ヲ社定附近ニ配布セリ

大衆党代表四名ハ十日大藏省ヲ訪問シ前日今様ノ陳情ヲ為ス